学校番号	2101

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育ｈ	単位数	１単位	年次	全年次【体育の単位２単位以上履修(修得)している者】
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・心身の健全な育成をはかり、スポーツの楽しさ、身体活動の爽快さを感じよう。
・ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得しよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	受講態度の観察 等	技能観察 等	受講態度の観察 レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
球技	オリエンテーション 集団行動 ネット型 卓球	○	○	○	○	aフェアなプレイを大切にしようとしている。健康や安全の確保をしている。 b自己に適した関わり方を見付けている。課題を発見しようとしている。 c運動技能。安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きをしようとしている。 d技や道具の名称について理解している。ルールを理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート
球技	ネット型 バドミントン	○	○	○	○	aフェアなプレイを大切にしようとしている。健康や安全の確保をしている。 b自己に適した関わり方を見付けている。課題を発見しようとしている。 c運動技能。安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きをしようとしている。 d技や道具の名称について理解している。ルールを理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート
水泳(前期)	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	a 水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。健康・安全の確保をしている。 b 自己の課題克服を目指している。 c 運動技能 d 技の名称について理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。